



せ っ さ た く ま

切磋琢磨！ 競い合うことの価値

～いちょう大運動会(10/17)を振り返って～

「自分の力を出し切り、協力し、勝利をめざせ」のスローガンの下、力の限り競い合った赤組・白組。企画は実行委員会での様々な話し合い、役割分担の上に着実に進められました。借り物ではない「本物」のいちょう大運動会。令和2年度は、白組が優勝し、応援賞は赤組が勝ち取りました。

当日は、肌寒い中でしたが、懸命に走り切る姿・本気で競い合う姿・キレッキレに踊る姿に目頭が熱くなりました。ご声援をいただいた保護者、ご家族皆様に心から感謝申し上げます。切磋琢磨した「いちょうの子どもたち」に祝福あれ！

学校長講評より

ここに集う、第四小学校の一人ひとり、そして、見守ってくださった皆さん一人ひとりの心に、たくさんの思い出を残し、今年の「いちょう大運動会」がおわろうとしています。

今は、グラウンドに響いた「あの力強い応援」や「力の限り仲間を励まし続けた太鼓の音」、そして「見守ってくださった方々の歓声」は聞こえません。時が過ぎてゆくのをさびしく思います。でも、全力を出し切ったからこそ感じる心地よさが心の中に響いているのではないのでしょうか。競い合う仲間・よきライバルがいたからこそ、全力を出し切ることができた。このすばらしい「時」を一緒に過ごせたことを幸せに思います。

6年生あおぞら学年にとっては、本校最後の大運動会となりました。あおぞら学年のみなさん、よく、みんなをリードしてくれました。実行委員を中心に、一人ひとりが背中に責任を背負い、「勝利に向かって本気の姿・団結の姿」を見せてくれました。「ダンス」も素敵でした。大きな、大きな拍手を贈りたいと思います。この雲の上には、清々しい「あおぞら」が広がっています。

また、6年生のリードにしっかりついて、力を出しきった5年生たいよう学年。先輩の姿がしっかり目に焼き付いたことでしょう。雲の上には燦々と輝く「たいよう」が上っています。そして、寒い中、懸命に取り組んだ4年生から1年生までのみなさんも、ほんとうによく頑張りました。みなさんの真剣な表情と純粋な心に、「希望と感動」をもらうことができました。

今年は、コロナ禍による様々な制限の中のチャレンジとなりました。「工夫し合った」というこの体験は、21世紀を生き抜いていく「みなさん」にとって、必ずや生きて働く力となることでしょう。

この経験を大きな自信にして、よりよい第四小をめざして、努力してゆきましょう。

最後に、温かいご声援を送って下さった保護者、そして、ご家族の皆様、今年はお案内が叶いませんでしたご来賓、地域の方々にも心から感謝を申し上げ、講評といたします。